

君津市消防団組織再編について

消 防 本 部

1 再編の概要

少子化や被雇用者の増加などの社会情勢の変化により団員確保が困難になり、消防団活動に支障が生じている分団の統合を先行して取り組むため、消防団役員と消防本部職員で構成する君津市消防団組織再編実行委員会で、検討を重ねてきた。

地域防災力の中核として欠くことのできない消防団を将来にわたり維持していくとともに、消防団員が活動しやすい体制づくりと組織の強化を進めるため、消防団の再編を行う。

2 再編方針

再編により効率的な組織体制を構築するとともに、地域コミュニティーを考慮し、消防力の低下を招かないように配慮する。

- (1) 現在の分団機庫、車両を地域に残すことにより、地域防災力を維持する。
- (2) 管轄区域で活動できる団員数を確保することにより、団員の負担軽減を図る。

3 団員定数の見直し

先行した取組みとしての再編実施に伴い、君津市消防団の定数の見直しを行う。

4 新たな体制

地区	新分団	受持区域	機庫	車両	新定数	現定数
第4支団	小櫃 28分団 (25分団)	末吉、三田、長谷川 小櫃台、吉野錯綜地	◎28分団1部 (現28分団)	◎現28分団	38	(28)
		山本、西原、賀恵淵	28分団2部 (現25分団)	現25分団		(27)
	26分団 (27分団)	戸崎、岩出、寺沢、 田川飛地 青柳、箕輪、上新田、 俵田	◎26分団1部 (現26分団)	◎現26分団	38	(28)
			26分団2部 (現27分団)	現27分団		(28)

地区	新分団	受持区域	機庫	車両	新定数	現定数
第5支団	久留里 29分団 (33分団) (34分団)	久留里市場、小市部 久留里、浦田（戸張）	◎29分団1部 (現29分団)	◎現29分団	38	(25)
		久留里大谷、吉野	29分団2部 (現33分団)	現33分団		(16)
		川谷、怒田（福野）	29分団3部 (現34分団)	現34分団		(18)
松丘	38分団 (37分団)	広岡	◎38分団1部 (現38分団)	◎現38分団	28	(18)
		大坂	38分団2部 (現37分団)	現37分団		(18)
亀山	43分団 (44分団)	折木沢、坂畑、滝原	◎43分団1部 (現43分団)	◎現43分団	28	(20)
		黄和田畑、蔵玉、釜生 蔵玉・釜生入会	43分団2部 (現44分団)	現44分団		(19)

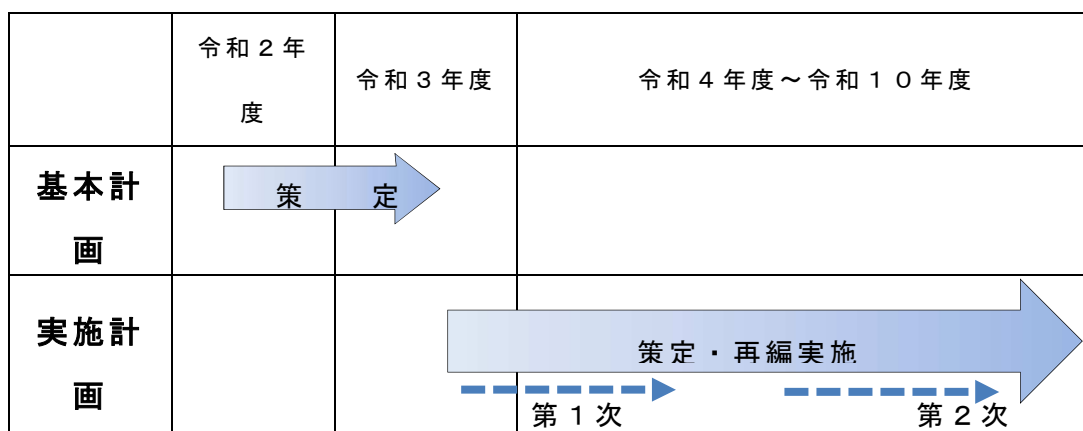
※ ◎は主となる機庫・車両を表す。

5 定数算定の考え方

団員定数については、国の基準である「消防力の整備指針」の旧基準の算定方法を参考にしつつ、令和12年の推計人口と団員割合を考慮し算定した。

6 全体計画の策定

消防団組織再編全体の方針を示す(仮称)「君津市消防団組織再編基本計画」の策定を行い、今後活動に支障が生じる可能性のある分団の再編を順次進めていく。



7 先行した取組みの今後のスケジュール

令和3年 3月 条例改正（先行した取組みによる定数の見直し）
4月 再編実施